

収入確保策について(案)

- 独立採算で博物館を運営することは相当困難
(中期目標で法人全体の自己収入3%増が必要)



今後は、様々な財源確保に積極的に取り組む必要がある。

＜今後、考えられる財源確保策＞

- 入館料収入（来館者の増加）
 - ・近隣の学校、地元との連携強化や広報の充実（SNSの活用等）
- 事業収入
 - ・資料・画像等の利用等拡大
 - ・教育普及プログラムの提供（講師派遣等）
 - ・物販の充実（図録販売、ミュージアムグッズ等）
 - ・施設の活用や貸出（多目的スペース、研修室等）
 - ・カフェ、レストラン等の設置
- 寄付金収入
 - ・多様な寄付メニューの創設
- 外部資金（補助金、助成金等）の獲得
 - ・展示・教育普及に関する補助金、助成金の獲得
(例：文化庁、助成型財団など)
 - ・学会等との共同研究
 - ・科学研究費補助金への申請
- その他
 - ・多様な会員制度や広告・協賛制度等の創設